

教 育 研 究 業 績

氏名 福山 裕宣

学位：修士（経営工学）

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
科学教育・教育工学、経済学、心理学		
主要担当授業科目	情報・メディアリテラシー、情報演習、情報と社会、 教理の基礎、社会調査演習、社会調査法入門、質的分析法	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 1 ノートテイクの指導	平成 5 年 4 月～現在	ノートテイクの意義、方法等を文献を参照しながら伝え、日々実践していけるよう板書や講義資料、問いかけに工夫して講義に臨んでいる。
2 講義用 HP の公開	平成 9 年 4 月～現在	講義用に独自ドメイン https://www.hpymt.net/ を取得し、ポータルサイトを起ち上げ、担当する全ての講義に対して、講義中に使用する資料を Web 上に公開した。すべての資料は PDF 形式または HTML 形式で公開し、いつでも・どこでも閲覧できるため、学生の予習・復習の教材として大きな効果を果たしている。
3 課題提出システムの開発	平成 12 年 4 月～現在	全ての担当する講義に対して、ログイン ID、パスワードにより利用者を特定し、課題・レポート等の提出を Web 上で行えるシステムを開発し、上記の講義用ポータルサイトから利用できるようにした。これにより、学生が自宅等の学外からインターネット経由で課題を提出できるだけでなく、学生自ら提出状況や提出日時を確認できるようになった。
4 小テスト及びアンケートシステムの開発	平成 13 年 4 月～現在	全ての担当する講義に対して、ログイン ID、パスワードにより利用者を特定し、講義時に Web 上で小テストや調査票調査を行えるようにシステムを開発した。このシステムを利用することにより、受講者の理解度、授業の進め方、要望を把握し、次回の講義計画に反映させることができるとともに、学生自身が講義の理解度を知ることができ、講義へのモチベーションを高めることが可能となった。
5 出席管理システムの開発	平成 20 年 4 月～現在	全ての担当する講義に対して、講義時に Web 上で出席登録を行えるようにシステムを開発した。即座に出席状況を把握することが可能となったことに加え、受講者自らも出席状況を把握できるため、受講者の受講計画に反映させることもできるようになった。
6 ポートフォリオシステムの開発	平成 30 年 4 月～現在	学生が講義ごとに学んだ内容や質問を入力し、自分の入力した内容を閲覧可能としたことにより、学んだ過程を自らのポートフォリオとして振り返り、後日活用できるようにした。これにより学生自身の学びを深めることに貢献できている。
2 作成した教科書、教材 1 講義資料の公開	平成 9 年	講義中に配布した資料は上記の講義用ポータルサイトに公開し、学生が予復習に役立てられるように配慮した。
2 テキストの分担執筆	平成 19 年	「キャリアデザイン」の分担執筆を担当した。
	平成 19 年	「キャリアデザイン・ノート」の分担執筆を担当した。
	平成 23 年	「基礎演習・ディベートのためのテキスト」の分担執筆を担当した。
3 教育上の能力に関する大学等の評価	平成 9 年以降	学生による授業評価アンケートにおいて、担当授業科目のほとんどの項目において平均点以上の評価を得た。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		

5	その他			
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
	事項	年月日	概要	
1	資格, 免許			
2	特許等			
3	実務の経験を有する者についての特記事項			
4	その他			
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
	著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称
				概要
	(著書) 1 東京成徳大学における新入生のコンピュータ・リテラシーに関する調査	共著	平成 21 年 3 月	東京成徳大学研究紀要 - 人文学部・応用心理学部-, 第 16 号, pp. 59-71
	2 項目反応理論による新入生のコンピュータ・リテラシーの測定	共著	平成 22 年 3 月	東京成徳大学研究紀要 - 人文学部・応用心理学部-, 第 17 号, pp. 33-47
3	:			
	(学術論文)			
1				
2				
3				
:				
	(その他) 【国内発表】 1 シラバスの電子・映像化と学内 LAN によるその視聴 -マルチメディア教育システムを利用して-	共著	平成 16 年 9 月	私立大学情報教育協会、平成 16 年度大学情報化全国大会予稿集、pp. 92-93
	2 講義補完型マルチメディア教育システムの構築とその運用に関する研究	共著	平成 17 年 9 月	私立大学情報教育協会、平成 17 年度大学情報化全国大会予稿集、

3 マルチメディアシラバスと連動した授業ポータルサイトの構築と運用 :	共著	平成 18 年 9 月	pp. 262-263 私立大学情報教育協会、平成 18 年度大学情報化全国大会予稿集、pp. 276-277	理方法について検討し報告した。 共著：川合治男、福山裕宣、半田勝久、岩瀬弘和 構築した講義録画システムを用いて、シラバスや講義の映像化を進めてきたが、より使いやすくするためにポータルサイトを構築し運用を開始した際の効用と問題点について検討し、報告した。
--	----	-------------	--	--

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。